

# 凌霜

りようそう

郡上市の教育理念

## 【凌霜の心で拓く明日の郡上市】

「凌霜の心」高い志と不屈の精神・感謝の心

### 若い力

♪若い力と 感激に  
燃えよ若人胸を張れ

これは1947年に作られた国民体育大会歌の一節です。当時の人たちは、戦後の困難期に老いも若きも必死になって今の日本の礎を作られてきました。今は違う意味で大きな困難期を迎えています。郡上市のような多くの地方都市は、急激な少子化・人口減が進み、将来自治体として成り立たなくなるかもしれない消滅可能性都市に挙げられています。今後も郡上市の人口が減っていくことはある程度仕方ない事だと思いますが、人口が減ったとしても魅力ある郡上人が増えれば郡

上市は活性化し、若い人も増えて消滅可能性都市からの脱却も決して夢ではないと考えます。今そう思える兆しが随所に現れています。それは郡上の若者の活躍です。昨年は、「観光甲子園2023SDGs修学旅行部門」で郡上高校の「へっあ・まめなかな」チームが見事グラプリを獲得し、全国507チームの頂点に立ちました。また今年は、高校の文化系のインターハイともいえる「ぎふ総文2024」に、自然科学の部門で郡上北高校科学部が岐阜県代表として出場し、オオサンショウウオのDNA研究の発表をしました。岐阜県からは岐阜高校と郡上北高校の2校のみの出場という快挙です。



▶白鳥おどり発祥祭7月20日

掲載されています。8月4日に吉田川で行われた中高生鮎友釣り選手権は9回目を迎えました。郡上の若者が実行委員となり年々規模を拡大。全国から中高生が参加する大会になりました。長良川や鮎を大切にすることで、若者が増やすとともに、地域振興や環境保全を目指しています。

写真は7月20日に行われた白鳥おどりの発祥祭の様子です。今年は白鳥中学校の生徒会役員のみなさんが式典の司会進行を務めました。式典の始めには先輩の高校生のみなさんの応援スピーチもありました。また、中学生の有志のみなさんが踊りーダーズを結成し、会場には多くの中学生や高校生の踊り手の姿がありました。

紙面の都合ですべての紹介はできませんが、郡上おどり発祥祭では郡上高校書道部が書道パフォーマンスを披露。路上に広げた大きな紙の周りで代表曲「かわさき」を踊り、「踊」の文字の周りにおどり全十曲の題名を書き、集まった人たちを喜ばせました。

このような素敵な若者たちの姿が郡上でみられるのは、小さい頃からの家庭教育、学校教育、

地域のみなさんの社会教育に育まれたからこそのだと思います。また最近では、企業のみなさんが地域貢献などに取り組む企業教育も盛んです。大人になるのに十数年もかかるのは人間だけです。「ヒトは人の間で人間になる」という言葉もあります。「まちづくりは人づくり」の言葉通り、子どもたちを見守り支援しながら、郡上市の活性化に取り組んで行きたいと考えています。

問 教育委員会教育総務課

67・1123

